

～学びの自立に向けて！！～

今年度も教育実習が無事、終わりましたね。最近の実習生は、始まるまではほぼ全員が「授業が上手くできるだろうか？」などの不安を口にしますが、いざ始まると ICT 機器も上手く活用し、生徒の前でも堂々と話をされるので私も見習うことが多いです。今回も教育実習生に「**学びの自立**」をテーマに原稿を依頼、それぞれ快く寄稿してくれましたので紹介します。是非、君たちの学びの参考にしてください。

関西大学法学部法学政治学科 富永 壮介 先生

西高では探究学習に力を入れており、自分で課題を見つけ、それに応じた解決策を考える活動も多いと思います。ただ、定期試験や受験となるとどうでしょうか。いくら探究的な学びをしても、いざ試験となると教科書や資料集、参考書に載っていることを軸に勉強し、正解を目指すのが現実だと思います。しかし、大学に進学すると「正解」がない世界が広がっています。教科書がない授業も非常に多く、何をどう学ぶかは自分次第です。だからこそ、学びの自立が必要になります。正解を探すのではなく、「何をどう考えるのか」「どのような見方があるか」「その考え方に論理的根拠はあるか」といった思考の前提やプロセスを考える力が大切になります。とはいえ、興味がないことを深く学ぶのは難しいものです。僕も英語は苦手でしたが、歴史や公民は大好きで夢中になりました。大学では、そんな「好き」にどっぷりと浸かることができます。学びを自立させるというのは、自分の「好き」から世界を広げていくことなのかもしれません。今の高校生活は、そのための大切な準備期間です。どうか、自分の「好き」を大切にしながら、自由に学びを育ててください。

熊本大学理学部化学科 竹本 結賀 先生

大学で化学を学び、研究に取り組む中で私は「学びの自立」の重要性を実感しました。「学びの自立」とは自分で考え、学んでいく姿勢や力です。高校では教えてもらったことを知識として覚える場面が多いですが、大学では自ら問いを立て、考え、調べ、実践することで学びに必要な知識やスキルを身に付けていきます。化学の研究では誰も見つけていない物質の生成や新しい合成方法の発見に挑みます。失敗を繰り返しながら、自分の手で解決策を探す過程には様々な学びがあります。また、大学は自由度が高く、学びに受け身な姿勢では何も得られません。逆に、自ら進んで学びに向き合えば、どこまでも成長できます。知識そのものも役に立ちますが、自ら学び続ける力も社会に出たときに通じる武器となります。皆さんも、進路を考える中で「学びの自立」を意識し、自分の知的好奇心を信じて進んでみてください。その姿勢が、自分の未来をより良いものにするはずですよ。応援しています

山口大学理学部地球圏システム科学科 堤 桃子先生

この度教育実習では大変お世話になりました。皆さんのモチベーションの一助となればと思い、1人の卒業生として筆を執っています。かつて私たちがそうだったように、大学受験に向けていろいろな思いを胸に抱えながら高校生活を送っているのではないかと思います。既にはっきり目標がある人、そこまでではないが大きく方向性は定まっている人、これからどうしようと思案中の人、多様だと思いますし、実際私はそれでよいと思っています。はっきりとした目標や方向が定まっていないうちは不安に思ったり、あるいは他のひとから不安な気持ちをうつされてしまうことがあるかもしれません。しかし、周りを見ていると目標や方向性を決めることに関してどうやら早い者勝ちではなさそうです。それに、一度決めたら変更不能、なんてことは全くなさそうです。親しい大学の教授からいただいた嬉しかった言葉をおすそわけします。「その選択はその瞬間のあなたが最善だと判断したものであるはず。あとはそんな小さな選択をたくさん積み重ねていくことだけ。気がつくと自分が納得する答えになっているはず」。どうでしょうか。数学で微分・積分を学んだひとはイメージしやすいかもしれませんがね。この言葉が誰かの小さなお守りとなって、そのひとの一步を少しでも勇気づけるものとなることを願って。

山口大学理学部生物学科 寺本 響先生

2週間、教育実習でお世話になりました！

今から教えることは、「学びの自立」に沿ってないかもしれないんですけど、これからの生活をちょっとだけ楽しくする方法についてお伝えします。さらにこの方法は勉強にも役立ち一石二鳥なので、ぜひみなさんにもまねしてほしいです。それは「**普段の気持ちや漠然とした悩みを言葉にしてみる**」ことです。例えば、嫌いな食べ物がトマトだったとして、昔の僕はただ嫌いと思っていましたが、今なら「皮は張っていて固めなのに、中はジュレ状になっていて、おまけに酸っぱいし、種がプチプチしているという組み合わせが好きじゃない」と言葉にすることができます。それから、将来についてなんとなく不安な気持ちも、例えば「将来の仕事が確定してなくて生活はどうなるのか、社会人として責任感をもって仕事できるだろうか」と言葉にしてみてください。そうすると何が原因で、解決するにはどうすればよいか分かってくるようになります。トマトの触感がだめならレシピを変えてみる。責任感とは何か、約束や期限が守れる人なのか、やるべきことを最後まで取り組める人なのか。人によってその答えは様々だと思います。そうやって考える癖を身に付けるうちに何ということでしょう、自分や周りに対する解像度が上がるし、問題への向き合い方が分かり、自分で解決できるようになります。ついでに記述問題を解く力とか、プレゼン能力も身につくそうじゃないですか？あと、言葉にするのってやってみると結構楽しいですよ～。ぜひ、この方法で生活をちょっとだけ楽しくしてみてください！

奈良教育大学教育学部伝統文化教育専攻・書道教育専修 大塚 野乃夏先生

この度の教育実習では、皆さんと共に学びの時間を過ごせたことを、心よりうれしく思います。私はかつて皆さんと同じように受験という大きな壁に挑み、不安や焦りと闘った経験があります。思うように成績が伸びず、くじけそうになったこともありましたが、「続けること」の大切さを実感しました。私は後期試験で合格しました。後期試験では、受けない人や、受けても諦めてしまう人もいると思いますが、最後まであきらめなければ道が開けることを経験しました。前期で落ちた時は、毎日つらくて泣きながら頑張った過去があります。頑張っていると、応援してくれる人や素敵な出会いが合格へ導いてくれることもあります。その経験のおかげで、今は「あの時頑張れた私なら大丈夫」と思えるようになりました。今回の実習で皆さんの頑張る姿を見るたびに、自分の原点を思い出しました。短い期間でしたが、この出会いは私にとってかけがえのないものです。どうか、どんな困難の中でも希望を持ち、心躍る道を歩んでください。皆さんの未来が輝かしいものであるよう、心よりお祈りしています。

【進路指導室の紹介！】

進路指導室は現在3棟2Fにあり、大学入試の過去問(青本・赤本)、参考書、問題集、進路情報誌など「**進路情報の宝庫**」で、赤本、青本、問題集は1回につき3冊まで1週間ほど借りることができます。

★冬季…2学期中間考査終了後～3月末

通常 (考査発表～前日も含む)	旭陵館・職員室	19:00まで (★冬季は18:30まで)
	教室	17:00まで ※エアコン使用不可
長期休業中	旭陵館	16:00まで ※指定開館日のみ
	職員室周辺	16:00まで
	教室	16:00まで ※課外期間中のみ

【補足】

- ・旭陵館は、土日に利用できる日があります。開館時間 9:00～17:00
- ・今年度も試行として**20:00まで旭陵館を開館**しています。

(文責・進路指導部)